

教育民生常任委員会

6月18日から3日間、陳情1件の審査、所管の事務調査と、現地調査を行った。

(診療所事務局)

診療所

大山診療所では田中所長の退職にともない6月22日以降、芦田医師を中心に7人体制で診療を再開している。

一般会計から診療所会計に赤字補てん分として約4600万円を繰り入れているが、その主なも

のは、大山診療所の起債償還金、約1800万円、事務局人件費2600万円である。

(教育委員会)

大山西小学校

耐震補強及び大規模改修工事を約3億5000万円の予算で行う。多目的室を新たに増築

大山西小を視察



し、玄関、職員室を移動する。工期は、1月までとしている。

学校ICT整備事業

「地域活性化、公共投資臨時交付金」事業として、約8千500万円の予算で行う。

文科省の推進課題で、デジタルテレビ、電子黒板等を各学校へ配備する。

文化祭

実行委員会で今年度の事業を検討した結果、10月24・25日に、名和総合運動公園で開催されることとなった。

今後、住民の皆さんに募集をし、ステージ発表や展示の応募者をつのる。

(住民生活課)

廃油活用事業

CO₂削減対策として最新のバイオディーゼル燃料精製装置を購入して、事業所に貸与する。

既に、米子市のおみの木園等に導入されており、将来は巡回バス等への活用を目指している。

経済建設常任委員会

6月18日から3日間付託された陳情2件の審査と所管の事務調査及び7か所の現地調査を行った。

(大山振興課)

大山寺の景観を

今年度から平成26年度にかけて大山寺地区で行う街なみ環境整備事業(総事業費3億5660万円)、農産物加工施設の設置運営方法について説明を聞いた。また、恵みの里公社と4月オープンした「道の駅大山恵みの里」の状況は計画通り推移する見込み。

(観光商工課)

お買い物を再び

大山町商工会と連携し好評だった「プレミアム付きお買い物券」を年末に向けて発売。

緊急雇用

緊急雇用創出事業では全課合わせて39人(総額244万円)の臨時職員を期限付きで採用する。

(建設課)

若者定住に

ナスパルタウンに若者向け町営住宅8戸(9800万円)を初めて建設する。また、公園整備(2か所1793万円)を実施する。他事業の取り入れなど安価で入居できるような鋭意努力をしている。

今年度の土木費は地域活性化交付金により通年の2倍、7億円近い予算となる。委員会は交付金の趣旨にそい町内企業が受注しやすいように事業の分割発注等の要請をした。

(農林水産課)

農道をきれいに

管理する農道の側面にコンクリートを張る農道路肩整備事業(1億5000万円)や耕作放棄地再生利用推進事業(1000万円)、水産物直売

所風除取付工事(276万円)など町が取り組む多様な補助事業の内容を調査した。

(水道課)

料金統一へ動く

平成29年度を目標に水道料金統一のため、今年度中に条例の制定を予定。(現在の状況は給水人口1万6328人、給水栓5525か所、年間給水量180万トン、給水原価169.2円/㎥)上萬地区給水管に減圧弁の新設、開拓専用水道では水源調査を実施する。

(農業委員会)

耕作放棄地の解消

耕作放棄地対策協議会と連携して今年度20ヘクタールの耕作放棄地の解消に取り組む。5年間の継続した作付けが条件となる。